

「マスク着用についての目安」に関する Q&A

R4.6.30 時点

マスク着用に関しては、できるだけマスクを着用したい方、マスク着用が困難な方など、様々な方がいらっしゃいます。他者に配慮し、お互いの対応を尊重していただくようお願いします。

Q1.「屋内」での着用について

国では、条件によっては屋内のマスクの着用を不要としていますが、県の目安で距離・会話の条件を問わず着用を推奨する理由は何ですか。

A1.国のリーフレットでは、「会話をほとんど行わない」場合にマスク着用を不要としていますが、人によって解釈が異なり、対応がまちまちとなって混乱が生じる可能性があります。また、例えば商業施設などでは、人が相互に移動しており、人と人の距離が流動的になります。加えて、自分が会話をしていなくても他者が会話をしたり、咳やくしゃみなどをした際に飛沫を浴びてしまう可能性やエアロゾル感染のリスクが屋外よりも高くなることから、着用を推奨するものです。

Q2.「屋内」の考え方について

国では、屋内の考え方を「外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など」としていますが、窓を開けた状態の建物の中、教室、体育館などは屋外と同様の考え方で良いですか。

A2.屋外と異なり、屋内は施設構造によって窓を開けた状態でも換気状況等が一律ではないため、上記のケースは、基本的には屋内と同様の考え方をすべきものと考えます。

Q3.屋外の人混みについて

駅前や信号待ちのような人混みが発生するような場面であっても、屋外において会話をしない場合には、マスクを外してよいですか。

A3.人混みが発生するような場面でも、屋外において近距離での会話をしない場合には、マスク着用は必要ありません。

Q4.屋外での会話について

屋外において会話をする場面とは、具体的にはどのようなものが想定されますか。

A4.例えば、イベント等で列に並ぶ際には、十分な距離が取れず、どうしても会話が生じてしまうことが想定されます。また、野球やサッカーなどのスポーツ観戦では、得点時などの歓声も会話に相当すると考えられます。各施設の管理者やイベント主催者等からの呼びかけにご協力いただくようお願いします。

Q5.外したマスクの取扱いについて

マスクの着脱が頻繁になるので、外したマスクの管理や再装着する際の汚染なども気になります。どのように取り扱ったらよいでしょうか。

A5.マスクを介した接触感染は主な感染ルートではありません。マスクの表面に極力触れないようにし、手洗いや手指消毒を徹底していれば、あまり神経質になる必要はないものと考えています。

Q6.熱中症との関連について

これから夏場に向けて屋外でマスクを外すことを推奨する根拠は何ですか。

A6.厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」資料(令和4年6月1日)に基づくものです。

「夏場については、熱中症予防の観点から屋外ではマスクを外すことを推奨する」とされています。

Q7. 学校生活におけるマスク着用について

学校生活におけるマスク着用についてはどのように考えればよいですか。

A7.マスク着用について学校現場では、これから夏場に向け熱中症を防ぐため、登下校時にマスクを外す等、文部科学省の衛生管理マニュアルや事務連絡に基づき、対応しています。

また、県教育委員会では、学校現場や市町村教育委員会のご意見を参考に、「学校生活における児童生徒のマスク着用に関する基本的な考え方」をまとめ、6月30日に県立学校及び市町村教育委員会へ通知したところです。